種蒔百話（八十五）

人種改良

國澤　敬吉

[illegible]界の道理とや云はん感情とや云はん千高年来世々の遺傳に存して人々の骨に徹したる慣行は其利害如何に論なく容易に改む可らず假令ひ或は之を言ふも唯世間を驚かすのみにして所謂空論漫論に過ぎずと雖も空論漫語も時として人の思想の幅を廣くする爲めには固から亂暴なきに非ず天の時して昇る可らざるが如しと雖も[illegible]に吐はざるの意味なれども火焰と怒濤との間に[illegible]を孤して互に語らんと云ふ月の世界に漂息を繋ぐの道ありとて其工風に就て立案するものあれば假令ひ[illegible]に行はれざるも單に其說を聞のみにて人間に絶對の不如意はなきものなりとの觀念を敎起せしむるに足る可し卿ち思想を廣くし魂力を大にするの方便にして其思想魂力は自から百般の人事に即を爲すをある可し依て今ふ一端の漫語を論らんに近年家畜飼育の養法次第に進歩して能く其特性質を改良するのみと雖も其基礎から[illegible]は唯血統を撰ぶに在るのみ例へば牛馬の長きものを得ん欲すと雖も其父と母として一個の不良物を近づけず良父母果して良子を産めば其子の中より選らに善良なる遺物を撰んで父母と爲し常に飼養法に注意して四世五世を經る間には其成績質に著く可きものあり然かのみならず此馬は四足[illegible]て完全なれども唯盲の形に缺點ありと云へば此性の一方を撰して[illegible]目に著く者の宜しきものを得るが如き自由自在にして恰も木石を削て細工を施すに異ならず西洋諸國にて牛馬羊豚雞犬の類を飼養して年々歲々之を改良し百年前の物に比して殆んど別種族の觀を呈したるは唯を血統を重んじて之を養るのみとなきに由るのみと云ふ我人間の特性質も之を他の動物に比して幸より[illegible]不完全の別あるを[illegible]其世々遺傳の動束に於ては些少の相違ある可らず人畜正に同一樣にして[illegible]の父母に潜弱の子あり强壯の子に强壯の父母あり其[illegible]を遺傳し身體の强弱精神の智愚都て父母祖先以來の遺物のみならず其[illegible]の種類も亦遺傳の結束に漏れず[illegible]して文武[illegible]に先人に[illegible]する其[illegible]は[illegible]犬の子に獵犬を生じ守夜犬の子に守夜犬を生じて其毛色までも親に似るが如し此事實果して迂ふ[illegible]なりとすれば[illegible]人間の婚姻法を家畜改良法に則とり良父母を[illegible]して良兒を產ましむるの新工風ある可し其大略を云はんに先づ第一に强剛智慧[illegible]の道を絶ち其[illegible]の[illegible]くして愚なる者に[illegible]を[illegible]するか又は[illegible]せしめて子孫の繁殖を防ぐと同時に他の[illegible]の中に就ても善なる者を[illegible]して[illegible]と[illegible]し或は其[illegible]の速なられんことを敎すれば一明にして[illegible]に[illegible]するは無論、配偶の[illegible]合にして一男一女[illegible]可き[illegible]陰陽生兒の殺多くして其身心の美ならんことを求るのみにして改良又改良、一[illegible]に進化するときは牛馬犬は[illegible]くして[illegible]見ると雖も反し人間の[illegible][illegible]々[illegible]と雖も凡を三[illegible]の[illegible]その[illegible]を[illegible]人[illegible]なり其[illegible]と云[illegible]の種にして[illegible]も其卵の在る所を求れ[illegible]

[illegible]識中にみそ見る可けれ）を[illegible]み培養に心を用ふるのみにして意の如くならざるはなし愛に達[illegible]を欲すれば天下の人をして意の如くならざるはなし愛に達[illegible]遍乳子耶蘇たらしむ可し、物理學者の所謂とあれば[illegible]千高の[illegible]トンを生じ、武人の[illegible]を見る可し必要と迫へば[illegible]る所に[illegible]清正本[illegible]千八郎を見る可し男女の[illegible]を大にするも小にするも美にするも醜にするも其色を白くするも黑くするも黃にするも[illegible]するも其色を白くするも黑くするも[illegible]して好男子美女子を求る[illegible]小野小町は普通の男女にして[illegible]珍らしく[illegible]平小町に文[illegible]の[illegible]あらば之に[illegible]一部分を[illegible]するとも[illegible]し[illegible]の[illegible]ば[illegible]のみを小にす可し[illegible]の[illegible]して[illegible]し[illegible]ば[illegible]し[illegible]取るも[illegible]宜にす可し之を要するに人[illegible]今の[illegible]業馬車の[illegible]馬と[illegible]アラビヤ馬に[illegible]化せしむるに等しく國民一般の[illegible]を[illegible]して然かも事の成を[illegible]は[illegible]ならず[illegible]に二三百年なりと云ふ誠に容易なる事業にして[illegible]も或る一國にして此事を實行するものの[illegible]為[illegible]世界中を征服し父[illegible]服せしめて地球は一政府の下に[illegible]可し[illegible]快なりと雖も是れ即ち言ふ可くして行はれざる事なり

以上の論説[illegible]より漫にして聽くに足らざるが如くなれ[illegible]を一笑に付すれば自から[illegible]者の氣を[illegible]して[illegible]にも其平生[illegible]る心[illegible]を一轉するの功[illegible]可しと雖[illegible]其人[illegible]の性[illegible]底、物の用に[illegible]せ[illegible]して之を[illegible]して地球は一政府の下に[illegible]せしむるの[illegible]を[illegible]乃ち策を決して[illegible]南方人種に屬し[illegible]の[illegible]に代ふるに北方人を以てせんとしたるに由て止みたりと云ふ又前年我北海道[illegible]に移して[illegible]々の[illegible]に[illegible]大某氏を顧問に[illegible]して[illegible]中馬[illegible]の[illegible]りしとき某氏の說に曰はく[illegible]の[illegible]民を移すも北海道の悪[illegible]を[illegible]は[illegible]す可らざるが如く今日の要は先づ北海道内の馬を見物[illegible]を[illegible]すに在りと[illegible]しかせも其實行の如何に拘はらず[illegible]と云ふ可し又事は異なれども昨日[illegible]を見るに三名の[illegible]友が[illegible]に申合せて[illegible]編中は分[illegible]後、生兒の[illegible]して其子の天然にれの〳〵[illegible]人間に[illegible]る[illegible]男女を問はず[illegible]萬[illegible]の數を一[illegible]に屬し[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]の[illegible]の